

# ホモロジー的 シラー対称性

$$Fuk(X) \cong D^b \text{coh}(Y)$$

30年ほど前、物理学の弦理論の研究から、二つの異なる幾何学(複素幾何学、シンプレクティック幾何学)を結びつける予想群(ミラー対称性)が発見されました。

今回の講座では、もっとも簡単なアフィン空間の場合のミラー対称性を体感してもらうことがゴールです。多項式環やその上の加群についての考え方を実例を通して紹介し、またそのミラー側の記述を絵を描きながら紹介します。代数的な操作と幾何学的な操作の対応をすこしでも感じてもらえたら、と思います。ミラー対称性の由来として、物理と数学の関わりについても説明を付け加えるつもりです。

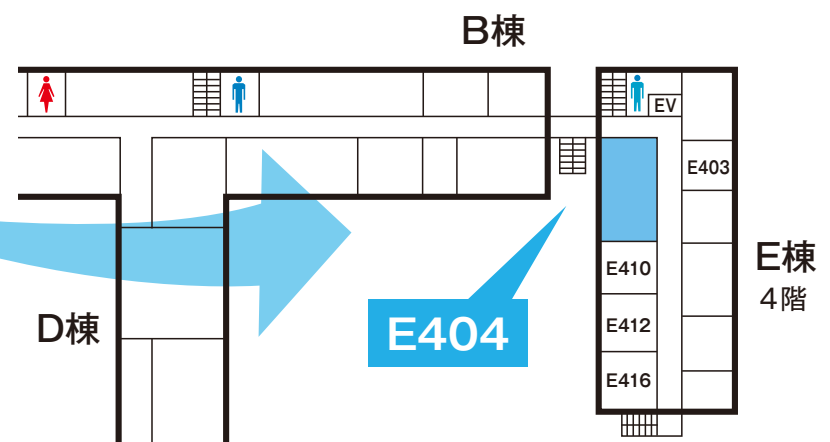
**日時** 2021.11.6 [SAT]  
15:20—16:50

**講師** 桑垣 樹 先生(大阪大学)

**場所** 理学部E棟4階  
E404 大セミナー室  
※満席の場合サテライト会場E301にご案内します。

**問い合わせ先** 理学研究科 数学専攻事務室  
E-mail : kouhou@math.sci.osaka-u.ac.jp

参加費は不要です。参加希望の方は右記フォームにて登録をお願いします。またZoomを使いオンライン配信も行います。登録後ZoomのURLをお送りします。



会場へは大阪モノレールの「柴原阪大前駅」、または阪急宝塚線の「石橋阪大前駅」が最寄り駅です。柴原阪大前駅から徒歩5分、石橋阪大前駅からは徒歩25分で着きます。